

受講学生に聞いてみました！

【フランス語】

① この言語を学ぼうと思ったきっかけは？

幼少期から続けているバレエの影響で予てからフランス延いてはヨーロッパに強い関心があったことが第一の理由です。大学入学以前からフランス語を習得してその先の芸術文化や社会問題をより身近に理解したいという思いがあったので迷うことなく第二外国語の選択ができました。また、言語そのものの音の響きに純粹に魅力を感じたことや、国際機関の公用語として使用されていること、さらに英語の論文を読む際にフランス語の単語が用いられているのを目にした際他の言語に翻訳できないものの意味自体に価値が見出されているという点にフランス語の面白さを感じました。

② 選択した第二外国語を授業以外で使うように意識はしていますか？

はい 学外ではありますが、会話を重視したフランス語教室に授業履修中も通っており、現在も続けています。必修第二外国語の授業が終了した3年次Q1の直後には、仏検を始めて受けました。英語の場合とは異なり語学試験が頻繁に開催されているわけではありませんが、学んできたことを活かせる場という実感を得ました。また個人的に実践に重きを置いて言語を楽しみながら能力を上げたいという意識があるので、チェコに留学している間も現地のフランス語の授業や語学学校に足を運ぶこともありました。

③ 卒業論文に選択した第二外国語は使用していますか？

いいえ 卒業論文は英語で書いています。論文に使用する程の語学レベルにはまだ達していないという自覚に加え、フランスに限定したテーマではなく別のヨーロッパ諸国と日本に焦点を当てた内容なので、フランス語は使用していません。

文献を探す際にフランス語で書かれた情報を目にすることはありますが、基本的には論文作成とフランス語学習を分けて進めています。